

魅力ある授業のために（単元化例） 論理国語 読むこと

1 単元の目標

- (1) 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕 (1)ウ
- (2) 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。〔思考力、判断力、表現力〕 B(1)カ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	論理国語	学年類型	2年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	筆者の主張を捉えた上で、日本語や文化について意見文を書こう （『日本語の個性』）					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。(1)ウ)		「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。		筆者の主張や本文の内容を理解し、日本語や文化に対して自分の考えを意見文にまとめる活動を通して、積極的にさまざまな資料を調べたり、自分の考えを広げたり深めたりしながら自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
筆者の主張を捉えた上で、日本語や文化について自分の考えを意見文にまとめる活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1 ・ 2	筆者の主張を捉えた上で、日本語や文化について自分の考えを意見文にまとめる活動。 ①単元の目標と本時の目標を確認する。 ②複数のグループに分かれて、本文の各章((A)訳せぬ「であろう」(B)移すということ(C)論争と言葉(D)日本語の国際化)を読む。 ③各章にある筆者の論理や考えをグループで話し合い、まとめる。	◎			・記述の分析 (ワークシートI)		
3	筆者の主張や考えについて各グループでまとめたものを発表する。 ④本時の目標と流れを確認する。 ⑤前時のグループ(A)～(D)のメンバーが最低1人ずついるグループをつくり、前時にまとめた各章の筆者の論理や考えを本時のグループ内で発表する。 ⑥それぞれが発表した内容を踏まえて、日本語や文化に関する各章にある筆者の主張や考えの共通点や差異をまとめる。 ⑦筆者の論理や考えを理解する。		○	○	・記述の確認 (ワークシートI)		
4 ・	諸外国と日本の比較をして、日本語や文化についての意見文を作る。						

5	⑧本時の目標と流れを確認する。 ⑨インターネット等を使用しながら、さまざまな観点に広げて諸外国と日本との違いを調べる。 ⑩調べた結果から見えてきた違いを踏まえて、日本語や文化についての意見文を書く。		◎		・記述の分析 (意見文)
6	自分が作った意見文を読み合い、相互評価する。 ----- ⑪本時の目標と流れを確認する。 ⑫自分が作った意見文を読み合い、相互評価する。 ⑬他者からの評価を踏まえて自身の意見文の振り返りを行う。			◎	・記述の分析 (ワークシートⅡ)

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	筆者の言語文化の捉え方を踏まえながら、各国のさまざまな観点での文化的な特徴が相互に影響を与えて文化の差になっていることを捉えて、日本文化について自身の意見文を作成している。	筆者の言語文化の捉え方を踏まえながら、他国のさまざまな観点での文化的な特徴を発見して、比較をして日本文化について自身の意見文を作成している。	筆者の言語文化の捉え方を踏まえながら、他国文化と比較をして日本文化について自身の意見文を作成している。

4 主体的に学習に取り組む態度のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
積極的にさまざまな資料を調べたり、自分の考えを広げたり深めたりしながら自らの学習を調整しようとしている。	積極的にさまざまな文化的観点を調べて日本文化と比較しようとしている。また、作成した意見文の相互評価を通して自身の意見文を客観的に理解し、より多角的な視点な意見文にしようとしている。	積極的に他国の文化的観点を調べて日本文化と比較しようとしている。また、作成した意見文の相互評価を通して自身の意見文をよりよくしようとしている。	他国の文化的観点を調べて日本文化と比較しようとしている。また、他者が作成した意見文と自身の意見文を比較しようとしている。